

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		他のグループホームではご利用者様と食事を取られているが、ロ・スカー口では職員と一緒に食事を摂っていない。	週1回からご利用者さんと一緒に食事を摂っていく。	職員の配置の見直しと一緒に食事を摂る事によって、見出す事のできるメリットを推進していく。	3ヶ月
2		定期的な行事はたくさん催されているが、日常的な外出が出来ていない。	日常的に外出の支援が出来るようにする。	業務の合間に出来るわずかな時間を外出支援に向けられるよう、職員の意識変革を促しながら会議などで呼びかけをおこなっていく。	6ヶ月
3		重度化した時の対応がターミナルの方針を含め、しっかりと出来ていない。	重度化の方針をターミナルを含め策定する	再度重度化マニュアルを見直し、ターミナルの方針を具体化して方針を策定する。	6ヶ月
4		現状として災害時のマニュアルは存在するが、火事や地震、風水害なども含めたマニュアルがない。	地震、風水害も含めた災害マニュアルを策定する。	地震マニュアル、風水害マニュアルを策定し、災害時マニュアルを作成していく	6ヶ月
5		自治会に加入できていない	自治会に加入する	新住民は自治会に入れない事となっているが、地域へのアプローチを続け、地域との関係性を友好に保ちながら、自治会加入を目指す。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。